

## AE 減水剤 高機能タイプ ダラセム M-7 シリーズ

JIS A 6204 AE 減水剤 標準形／遅延形 I 種

### はじめに

近年のコンクリートの技術革新には目覚ましいものがあり、それに伴ってコンクリートに要求される性能や品質はますます多様化・高度化しています。

ダラセム M-7 シリーズは、これからの時代を担う機能性に富む AE 減水剤です。

ダラセム M-7 シリーズは、ポリカルボン酸化合物と特殊界面活性剤の複合作用により、従来の AE 剤に比べ、山砂や砕砂の比較的微粒分の多い骨材使用の生コンに対して優れたスランプ保持性能を発揮し、良好な作業性を有する生コンを製造することができます。

### ダラセム M-7 シリーズの特長

- 優れたセメント分散性により、単位水量を大幅に減ずることが可能
- 流動保持性に優れた機能を有し、安定した施工性が得られる
- 材料分離を抑制し、ブリーディングおよびコンクリートの沈下を減少
- 材料や温度による品質変動が小さく、取り扱いが容易
- 耐久性に優れたコンクリートの製造が可能

主成分・物性			
	ダラセム M-7	ダラセム M-E7	ダラセム MR-7
区 分	標準形 I 種	標準形 I 種	遅延形 I 種
主成分	ポリカルボン酸系化合物 と特殊界面活性剤	ポリカルボン酸系化合物 と特殊界面活性剤	ポリカルボン酸系化合物 と特殊界面活性剤
外 観	褐色液状	褐色液状	褐色液状
密度 (g/cm <sup>3</sup> )	1.040 - 1.060	1.035 - 1.055	1.050 - 1.070
全アルカリ量 (%)※	0.7	0.8	1.4
塩化物イオン量 (%)※	0.01	0.01	0.01

※全アルカリ量および塩化物イオン量は測定値例です。

### 使用方法

ダラセム M-7 シリーズの標準使用量は、結合材に対して 1.0 % ですが、目標の性能が得られるように 0.3 ~ 2.0 % (質量) の範囲でご使用ください。

本製品の性能は、使用材料や使用条件などにより異なる場合がありますので、目標とするコンクリートが得られる使用量を試し練りによって決定してください。また、所定の空気量が得られない場合は、弊社の空気量調整剤を用いて調整してください。

ダラセム M-7 シリーズは、単位水量の一部として練混ぜ水に混合してご使用ください。

ダラセム M-7 シリーズには、ダラセム M-7 (標準形)、ダラセム M-E7 (スランプ保持形) およびダラセム MR-7 (遅延形) がありますので、用途に応じてご使用ください。

### 荷姿

18kg 内面塗装缶 / 210kg ドラム缶 / 1050kg タンク / バルク

## JIS A 6204 による試験結果例（標準形）

項目		AE 減水剤 標準形規格値	ダラセム M-7	ダラセム M-E7
減水率 (%)		10 以上	15	15
ブリーディング量の比(%)		70 以下	44	42
凝結時間の差 (分)	始 発	- 60 ~ + 90	+ 35	+ 45
	終 結	- 60 ~ + 90	+ 40	+ 45
圧縮強度比 (%)	材齢 7 日	110 以上	132	133
	材齢 28 日	110 以上	123	123
長さ変化比 (%)		120 以下	100	101
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)		60 以上	93	92

## JIS A 6204 による試験結果例（遅延形）

項目		AE 減水剤 遅延形規格値	ダラセム MR-7
減水率 (%)		10 以上	15
ブリーディング量の比(%)		70 以下	43
凝結時間の差 (分)	始 発	+ 60 ~ +210	+ 115
	終 結	0 ~ + 210	+ 115
圧縮強度比 (%)	材齢 7 日	110 以上	131
	材齢 28 日	110 以上	124
長さ変化比 (%)		120 以下	100
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)		60 以上	93

使用材料：セメント：普通ポルトランドセメント3種等量，細骨材：陸砂，  
粗骨材：碎石 2005，ダラセム M-7 シリーズ使用量：C × 1.0%

### 使用上の注意事項

- 雨水や異物が入らないように、また、凍結しないように保管してください。もし、凍結した場合には、徐々に温め、融解・攪拌後ご使用ください。
- 取扱いに際しては、ゴム手袋や保護メガネなどの保護具を着用してください。
- 皮膚に付いた場合には、速やかに上水道水で十分洗い流してください。眼に入った場合は、眼をこすらず直ぐに上水道水で十分洗眼した後、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合は直ぐに吐かせ、多量の飲料水を飲ませた後、さらに吐かせ、医師の診断を受けてください。
- 廃棄する場合は、産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
- 詳細な情報が必要な場合は、弊社の製品安全データシートをご参照ください。

[gcpat.com](http://gcpat.com) | 商品に関する問い合わせ: [asia.enq@gcpat.com](mailto:asia.enq@gcpat.com)

### GCP ケミカルズ株式会社

東京事務所 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1丁目8番10号 クリエイトビル6階  
Tel: 03 (5226) 0231 Fax: 03 (3239) 2251

技術部 〒243-0807 神奈川県厚木市金田100番地  
Tel: 046 (225) 8877 Fax: 046 (221) 7214

本書に記載されている情報は正当および正確とみなされるデータおよび情報に基づいており、ユーザの考察、調査、および検証に役立てていただくために提供するものです。弊社による使用環境の制御は不可能なため、弊社は使用効果を保証しないものとします。

弊社の全製品を対象とした限定保証および賠償などの使用条件とともに、すべての記述、提言、または忠告事項をよく読んでください。

いかなる記述、提言、または注意事項も法廷義務または第三者のいかなる権利を故意に妨害または侵害する目的で使用することを禁じます。

JF1111